

平成28年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成27年度実績)

担当課	20社会教育課
-----	---------

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	17010	事務事業コード	2005
事務事業名	公民館活動推進事業				開始年度	平成16	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	社会教育法		例規等	佐渡市公民館条例施行規則 社会教育振興事業補助金交付要綱 公民館分館施設等整備支援事業補助金交付要綱		
将来ビジョン	該当無し						H26: 重点●政策○	○
H27教育行政方針	【社会教育の推進】 2. 互いに助け合い活力にあふれる 地域の島						H27: 重点●政策○	●
H28教育行政方針	5. 一人一人が学び続ける生涯学習の充実						H28: 重点●政策○	●
事業概要	パン作り教室、ダンス教室、英会話教室等、多岐に渡る内容の公民館講座を開催することにより、市民の学習意欲や趣味の領域を広げ、人と人とのつながりを強化する。 また、自己研鑽発表の場として、各地区で芸能祭や文化祭を市民と一緒に開催することで、地域コミュニティの協働を進める。							
対象	市民							
意図 (対象をどのようにしたいか)	人が集い、交流できる機会を設けながら地域コミュニティの協働を図る。							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	26年度 実績値	27年度(評価年度)		28年度 目標値	29年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	公民館講座参加者数(延べ人数)	人	2810	3000	2648	3000	3000	3000
算式	-							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H26 決算額	H27 決算額		H28当初 予算額	H29以降の 予算の方向性		重点 細事 業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H26実績値	目標値	実績値	H28目標値	事業の方向性		
1	公民館講座事業			364	547		601	予算	維持	○
	指標	実施講座数	回	23	20	22	20	事業	維持	
2	公民館活動推進事業(分館活動費補助金、委託料)			10,152	9,181		9,103	予算	維持	○
	指標	分館活動補助数	件	236	242	239	242	事業	維持	
3	地区文化祭運営事業			63	100		157	予算	維持	
	指標	実施箇所数	箇所	11	11	10	11	事業	維持	
4	地区芸能祭運営事業			219	147		145	予算	維持	
	指標	実施箇所数	箇所	11	11	9	11	事業	維持	
5	地区運動会運営事業			326	591		752	予算	維持	
	指標	運動会等開催数	回	19	18	20	20	事業	維持	
6	SADO再発見サークル			-	471		0	予算	不要	◎
	指標	女性の参加率	%	-	50	52	-	事業	終了	
7	HAPPYDAY SAWATA			-	54		68	予算	維持	
	指標	参加者数	人	-	1000	1000	1000	事業	維持	
8	羽茂ふるさと祭り			237	293		472	予算	維持	
	指標	参加者数	人	1200	1500	1200	1500	事業	維持	

事業費の合計(千円)			11,813	11,710	11,589
財源内訳	国庫支出金		0	0	0
	県支出金		0	0	0
	地方債		0	0	0
	その他		145	0	0
	一般財源		11,668	11,710	11,589

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策
1	公民館講座事業	A	A	A	地区の特色と住民ニーズに沿った講座を行うため、公民館事業活性化支援隊を活用し、講座内容の見直しを図る。
2	公民館活動推進事業(分館活動費補助金、委託料)	A	B	A	地区公民館事業を活性化させるために地区公民館事業活性化支援隊を配置し、地区事業を活発に行うための支援体制を構築している。公民館活動を進めるうえで、活動資金は必要であることから、引き続き補助金交付による分館への活動支援を行う。
3	地区文化祭運営事業	A	B	A	地区住民の交流と活動成果の発表の場として有効であるが、高齢化などで参加者が減少している。学校と合同開催している地区もあるが、統廃合により存続が危ぶまれている。
4	地区芸能祭運営事業	A	B	A	地区住民の交流と活動成果の発表の場として有効であるが、高齢化などで参加者が減少している。学校と合同開催している地区もあるが、統廃合により存続が危ぶまれている。
5	地区運動会運営事業	A	A	A	地区住民の世代間交流と軽スポーツを推奨する場として有効であるが、高齢化などで参加者が減少している。分館主催が多数を占めているものの、学校と合同開催している地区もあるため、統廃合による存続の可否が懸念されている。
6	SADO再発見サークル	B	A	A	参加対象を独身男女に限定した体験型の連続講座。 ※予算科目はH28年度から地域振興課の出会いサポート事業に計上。
7	HAPPYDAY SAWATA	A	B	A	公民館の分館連絡協議会単独で行っていたレクリエーション事業に多種の講座や教室を同時開催することで、参加者規模の拡大を図る。(HAPPYDAY SAWATA)。
8	羽茂ふるさと祭り	B	B	B	地区恒例の、盆踊りやバンド演奏等。 今後、本祭りの受け皿の方向性を検討する必要がある。
Action		◆今後の事務事業の方向性◆			
評価(担当課長)		事業の方向性	拡充	予算の方向性	維持
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		学級・講座の運営に関して、定着している講座については、自主講座への移行を薦めている。 また、地域の特色やニーズに沿った講座運営を行うため、公民館事業活性化支援隊を組織し、講座内容等の見直しを進める。 地区運動会、文化祭、芸能祭については、地域住民交流の重要な機会であるが、参加者も減少傾向となり、運営にも支障をきたしていることから、実行委員会主導による事業展開を図る。 公民館分館活動費補助金については、H24から本庁で算出根拠を作成し、各分館に交付しているが、補助金の廃止は、地域において即、事業の廃止につながりかねないため、今後も継続して支援していきたい。			